



# とびっくす No.58

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www2.pref.shimane.jp/suigi/> )

## アカアマダイ稚魚を放流！

### ～出雲市沖で試験放流を実施～

島根県水産技術センター浅海グループでは県栽培漁業基本計画に基づいて平成 18 年度からアカアマダイの種苗生産技術開発に取り組んでいます。アカアマダイの種苗生産にはいくつかの技術的な課題があり、マダイやヒラメのような大量生産には至っていませんが、この度昨年度生産し、全長 8cm まで育てたアカアマダイ稚魚 3,100 尾を出雲市沖合に放流しました。昨年度まではアカアマダイ漁場となっている水深 80m 前後で放流していましたが、今年度は長崎県や京都府でも実施され、再捕実績のある浅場（水深 20m、底質はアカアマダイ生息域の泥場に近い比較的粒径の小さい砂）で放流を行いました。この海域の沖合周辺は、京都市市場などでも高い評価を得ている「小伊津のアマダイ」の漁場です。



写真1 京都市市場に並んだ小伊津のアマダイ

### 放流の概要

放流した稚魚は平成 23 年 9 月に浅海庁舎で採卵し、約 6 ヶ月間陸上水槽で飼育したもの（全長 8cm、放流尾数 3,100 尾）です。種苗には標識として昨年、一昨年と同じく頭部に着色シリコン樹脂（イラストマー）を埋め込んであり（写真 2）、再捕された際に外見から放流魚であることが分かるようにしてあります。

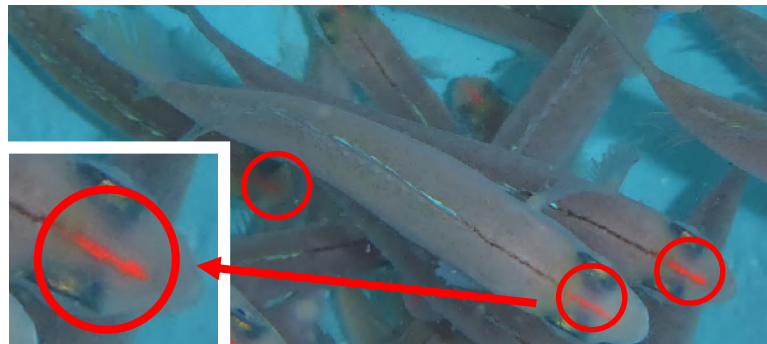


写真2 イラストマー標識の付いた魚（○の赤色の部分が標識）

稚魚は 0.5 トンのタンクに積み込み、2 回に分けて水産技術センターの調査船「やそしま」で放流地点である出雲市沖まで輸送しました。

放流地点に到着後、水を張った水槽中に入れた放流かごに稚魚を移し、何回かに分けて海底直上（水深 20m）までゆっくり降ろしたのち、かごのふたを解放し放流しました（写真3）。



写真3 放流の様子

### 皆さまへのお願い

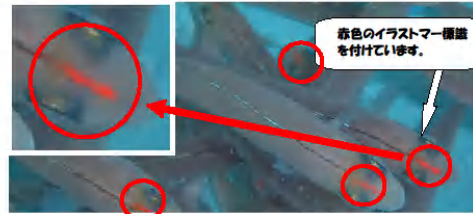
水産技術センターでは右のようなパンフレットを作成し、再捕報告のお願いをしております。「イラストマー標識」などの標識の付いた魚を漁獲された際は、水産技術センターまで一報いただければ幸いです。

皆さまからの報告により放流魚がどのくらい成長したり、移動したりするかなど、生態や放流効果を推定するのに必要な知見を得ることができ、今後の調査研究に役立てることが出来ます。どうかよろしくお願いたします。

なお、来週（4月15日の週）には日本海区水産研究所宮津庁舎で種苗生産され、JF しまね平田支所で中間育成されたアカアマダイ（約7千尾）も放流される予定です。

右は再捕報告依頼のパンフレット

## アカアマダイを放流しました



放流年月日 平成24年 4月12・13日  
 放流場所 島根県出雲市地合沖 水深 20m  
 放流尾数 3,100 尾  
 サイズ 全長 8 センチ  
 標識 イラストマー（体内にシリコン樹脂を埋め込むタイプの標識。現在アカアマダイの標識として非常によく使われている。）

### お願い！

標識がついたアカアマダイを再捕されましたら、次のことをお知らせ下さい。

- ① 再捕年月日
- ② 再捕場所
- ③ 大きさ

連絡先 島根県水産技術センター  
 （担当：清川）TEL 0852-82-0073  
 FAX 0852-82-2079

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)